

## 大田原市とのAI-OCRとRPA活用実証実験開始について

東日本電信電話株式会社栃木支店(支店長:長谷部 周彦 以下、「NTT東日本」)は、大田原市における自治体業務において AI-OCR※1 と RPA※2 を活用し、業務における適合及び業務効率化への有効性を分析・検証する実証実験を、2020年2月より開始いたします。

※1 AI-OCR=AI(Artificial Intelligence)の技術を取り入れた OCR(Optical Character Recognition/Reader)。

※2 RPA=Robotic Process Automation の頭文字。ソフトウェアロボットが業務プロセスを自動で処理する。

### 1. 背景・目的

大田原市では、少子高齢化の進展、市民の価値観・ライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、IT や限られた人的・経済的資源を有効に活用することにより、市民サービスを維持・向上、行政運営の効率化を推進しております。

このような中、自治体業務におけるICT利活用の本格導入検討に向け、今回AI-OCRによる実帳票の識字率検証に留まらず、AI-OCRとRPAを組み合わせた一連の効果検証を実施することとしました。

### 2. 実証実験期間

2020(令和2)年2月 ~ 2020(令和2)年3月末

### 3. 対象業務

- (1)市民アンケート集計業務
- (2)要介護認定調査業務
- (3)市民健康診査申込み業務

### 4. 実証実験利用ツール

・AI-OCR ツール 『AIよみと〜る』※3 LG-WAN 対応

・RPA ツール 『WinActor®』※4(NTT-AT 社製)

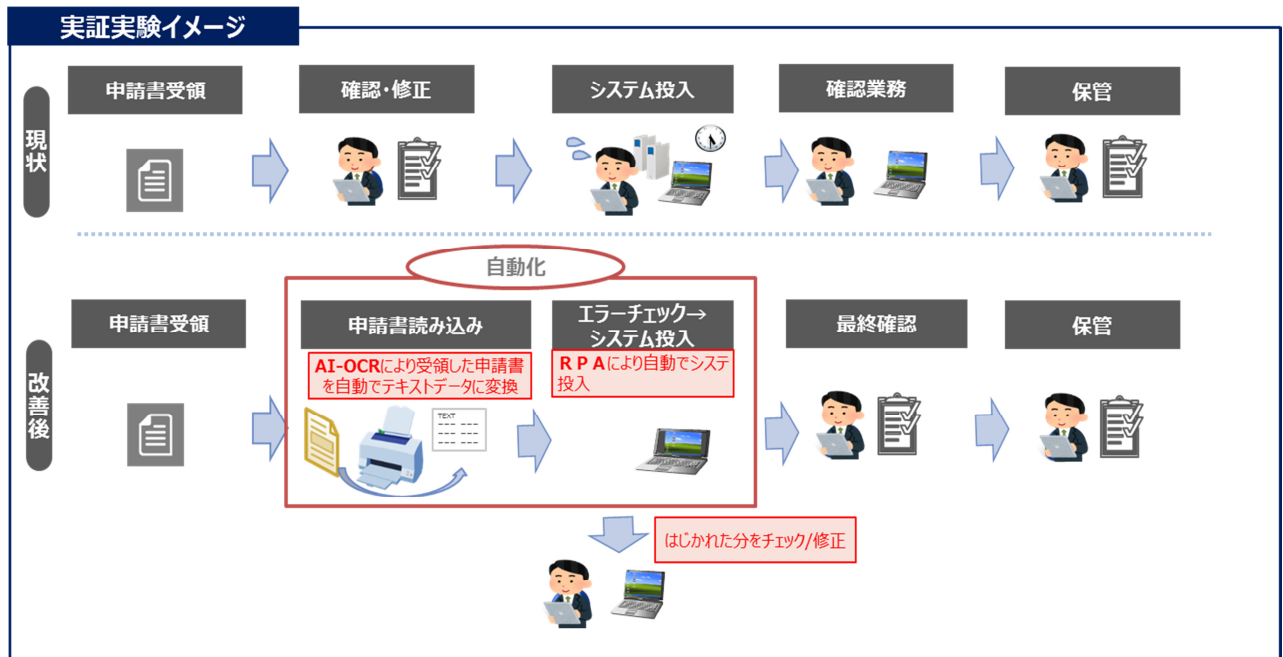
※3 『AIよみと〜る』大量の紙書類を高精度で仕分け・データ化し、業務効率化を支援する AI inside 社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 CEO:渡久地 択)が提供するソリューションをOEMとしてNTT 東日本が提供しています。

※4 『WinActor®』は NTT アクセスサービスシステム研究所で研究開発された技術をベースに、エヌ・ティ・ティ・アドバンス テクノロジー株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:木村 丈治)が商品化した純国産 RPA ツールです。

### 5. 今後の取り組み

今後、NTT東日本は、本業務での経験を活かし、県内自治体や企業等地域の様々なお客様の業務効率化や働き方改革を実現するソリューションの提案を目指します。

【参考】



報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。

現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。